

国民民主

KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1
電話:03-3595-9988 (代表) メール:press@minshin.or.jp URL:https://www.dpfp.or.jp
国民民主党 和歌山県総支部連合会 〒640-8156 和歌山市七番丁 11-1 アラスカビル 5階
電話:073-427-2255 FAX:073-427-2277 メール:info@dp-wakayama.jp URL:http://dp-wakayama.jp

こくみんみんしゅ
Press
号外

2018年 夏季号

ふつうの人から 豊かになるう。

英国の政治家エドマンド・バークの定義によれば、保守主義とは、「人間が不完全な存在であることを前提に、過去や現在の制度にこだわらず、歴史から学びつつ制度を少しずつ改革する」立場を言います。「この道しかない」という態度は保守主義者の最もきらいどころです。保守政治家は熟議を重んじ、権力の行使には臆病なまでに慎重になるのです。

一方で、リベラルという言葉には、自由の他に、「寛容」という意味があります。価値観が違う人も、お互いにその立場を認め合う姿勢がリベラルです。激しい宗教戦争の後に、西欧で積み上げられた考え方であり、本質的に保守とリベラルとは同じ意味になります。

その意味で、私は「リベラル保守」の政治家を目指してきました。こくみん民主党も謙虚で穏健な「リベラル保守」の政党でありたいと努力しています。右にも左にもかたよらない中道を目指すために、迫力不足で認知度も支持率も低いまですが、愚直に進もうと考えています。

さて、1月から始まったこの国会の風景はどうだったでしょうか。

総理夫人が、税金で雇われている秘書官を通じて行政に口出しをする。その夫人を守るために総理大臣が、どう考えてもつじつまの合わない答弁を繰り返す。財務大臣は、部下のたび重なる不祥事に辞職もせず、言いたい放題の無責任。そして、過労死認定を不可能にする残業代ゼロ法案やカジノ法案の強行採決。

とどめは、消費税増税前の参議院議員定数6議席増法案の強行採決。沖縄の本土復帰時に議席を増やしてから今日まで、議席を増やしたことは一度もありませんでした。昨年の衆議院総選挙では10議席削減しました。安倍総理は、消費税増税の条件として国会議員の定数削減を約束したはずですが。

与党が三分の二の多数を占めているからといって、ここまで国民をないがしろにする政治は許されません。野党の力不足を痛感します。

心が折れそうになり、座右のマックス・ヴェーバー「職業としての政治」を読み返しました。

「政治とは、情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力をこめてじわじわと穴をくり貫いていく作業である。」「現実の世の中が自分の立場からみて一どんなに愚かであり卑俗であっても、断じて挫けない人間。そういう人間だけが政治への『天職』を持つ。」

明日から、また、勇気を振り絞って街頭に立とうと思います。



衆議院議員・こくみん党和歌山県連代表

きしもと しゅうへい
岸本 周平

結成大会を開催

7月14日、こくみん党和歌山県連は100名の代議員が参加して、こくみん党となつてから初めての大会を和歌山市のアバローム紀の国にて開催しました。



こくみん党和歌山県連役員

代表	岸本 周平	衆議院議員(第1区総支部長)
幹事長	浦口 高典	和歌山県議会議員
副幹事長	永野 裕久	和歌山市議会議員
事務局長	メ木 佳明	(元)和歌山市議会議員
幹事	齋藤 麻希	男女共同参画担当
〃	藤原 慎一郎	選挙対策担当
〃	金谷 善進	第1区総支部
〃	山中 敏生	青年委員会担当
〃	坂田 隆徳	組織委員会担当
会計監査	池辺 泰男	団体役員
〃	大久保尚洋	団体役員

大会の初めに挨拶に立った衆議院議員の岸本周平県連代表は「昔の野党のように反対ばかりしません。きちんと議論して安倍政権と対決していくことができる政党としてこくみん党を作りましました。しっかりと議会制民主主義を守ります」と述べました。

来賓として参加した池田祐輔連合和歌山会長からは、厳しくも温かい祝辞が送られ、こくみん党にエールを送りました。

大会では常任幹事から、1年間の活動方針案、県連人事案などが提案され、全会一致で承認されました。

また大会では、来年に予定されている統地方選挙に臨む現職議員として浦口高典県議、永野裕久和歌山市議、立候補予定者として坂田隆徳県議候補予定者(岩出市)、山中敏生和歌山市議候補予定者も紹介され、議席拡大をめざして全力で取り組むことが確認されました。

来春の戦いに臨む県連メンバー

和歌山県議会議員

浦口高典



1. 本気の「健康長寿日本一わかやま」の実現を!

議会では、健康長寿について毎回取り上げています。「健康推進員」「ラジオ体操指導員」さらに県庁内に「健康長寿日本一わかやま推進会議」を設置し、実績をあげてきました。

2. 希望の「JR和歌山駅中心のコンパクトシティ」づくりを!

県と「JR和歌山駅前活性化協議会」が一体となって、JR和歌山駅前を中心としたコンパクトシティをつくり、街の活性化に取り組んでいきます。

3. 夢の「阪和35分通勤快速」の導入を!

若者が和歌山に定住してもらうために、「阪和35分通勤快速」の導入が必要です。県を動かし、JRに働きかけていきます。

質問 悪質クレーム対策について

民間でも行政においても顧客からの悪質クレームが社会的な問題となっており、その対策が急務となっています。悪質クレームによる市職員や職場に与える悪影響が懸念されます。そこで和歌山市が悪質クレームについての実態調査を行い、市役所全体でその把握につとめ、民間にあるような悪質クレーム対策のガイドラインの作成を行ってみたいと考えています。

答弁 まずは、アンケートで実態把握に努め、その調査内容を精査し、先進的に取り組んでいる自治体の事例を参考にしながら、提案のありましたガイドラインについても作成したいと考えています。



和歌山市議会議員

永野裕久

坂田隆徳



坂田隆徳は、一から出直します。

二大政党制による緊張感のある政治を実現させることだと信じ、昨年秋には衆議院選挙に挑戦しました。結果は見事に破れました。そのことを厳粛に受け止め、自分の力不足をしっかりと補い、和歌山県、特に岩出市の有権者の皆様のお声を政治に届ける仕事をこれからも続けていきたいと思っています。

坂田隆徳は、現在自転車とカブに乗って岩出の街を駆け巡っております。どうか、皆様のお声をお寄せください。

若さを生かし、全力で挑戦!

私は国会議員秘書として和歌山市で5年間活動しました。たくさんの人と出会い、多くの素晴らしいお声を聞くことができました。しかし、その多くは政治に届いていると言えません。今の和歌山市には、少子高齢化問題、若者の流出、防災対策等、多くの課題があります。私は若さを生かし課題解決のため全力で挑戦します。



山中敏生

玉木雄一郎共同代表講演会開催



講演する玉木雄一郎共同代表

結成大会には玉木共同代表がかけつけ、講演会を行いました。こくみん党は「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場にたった政党であることや安心した長寿社会や子育て支援のための政策を実現するために全力で取り組むことなどを述べました。

結成パーティーを開催 交流を深める

7月14日の県連大会後には、結成パーティーが開催されました。250名を超える参加者と来賓として仁坂和歌山県知事・尾花和歌山市長らが祝辞を述べ、結成パーティーに華を添えました。藤本哲史部落解放同盟和歌山県連合会執行委員長の発声で乾杯が行われ、パーティーは大いに盛り上がるものとなりました。



左から永野裕久和歌山市議、浦口高典県議、岸本周平県連代表、坂田隆徳県議候補予定者、山中敏生和歌山市議候補予定者

こくみん党和歌山県連メンバーノボリをたて、活動中

こくみん党が結成を見たものの、認知度において厳しい状況があります。そこで、こくみん党のメンバーは低い認知度を向上するために連日街頭に立ち、活動しています。お近くでお見かけの際はぜひともお声がけください。



毎朝、街頭に立つ浦口高典県議